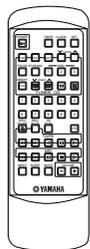
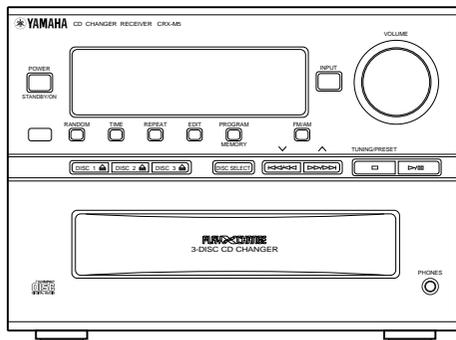




CD CHANGER RECEIVER

CRX-M5

取扱説明書



このたびは、ヤマハCDチェンジャーレシーバ CRX-M5 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

CRX-M5の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	2 ~ 3
おもな特長	4
接続のしかた	5 ~ 9
各部の名称	10 ~ 11
リモコンの準備	12
時刻の合わせかた	13

基本操作（電源・音量）	14 ~ 15
ラジオ放送を聞くには	16 ~ 19
CDを聞くには	20 ~ 27
CDを録音するには	28 ~ 31
タイマーを使うには	32 ~ 37

CDについて	38
お手入れするには	39
音楽著作権について	40
故障かな？と思ったら	41 ~ 42
仕様	43
ヤマハホットライン	
サービスネットワーク	裏表紙

はじめに

操作のしかた

ご参考

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

またお読みになったあと、いつでも取り出せる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告		この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
設置されるとき		使用中に異常が発生したとき	
	<p>本機に水を入れたり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>		<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 水場での使用 禁止	<p>風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	 	<p>万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
ご使用になるとき			
	<p>本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。</p> <p>本機の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p>電源供給コンセントに機器を接続するときは、機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を越えないようにしてください。火災の原因になります。</p> <p>また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器(電熱機具、ヘアドライヤー、電磁調理器など)は接続しないでください。電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>		<p>万一、本機を落したり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	絵表示の例	
 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。(外部アンテナ使用時)</p>	 <p>指を挟まれないよう注意</p>	
		 <p>分解禁止</p>	
		 <p>記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p>	
		 <p>⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>	
		 <p>記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>	



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置されるとき		ご使用になるとき	
	アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。		接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。 電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点に注意してください。 ・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。		指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 レーザー光源をのぞきまなないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。
	本機を設置する場合は、放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。		お子様ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
	移動する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、CDディスクは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。		旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
		お手入れについて	
			1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。
			お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

安全上の注意

おもな特長

実用最大出力20W + 20Wで迫力ある音が楽しめます

AMステレオ対応

FM/AM合計30局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー

CD3枚連続演奏が楽しめます

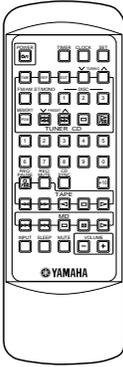
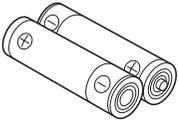
ヤマハのMDレコーダMDX-M5やカセットデッキKX-M5などとシステム接続することによって、CDからの編集が簡単にできます

48キー多機能ワイヤレスリモコン

はじめに、次のことをお確かめください。

- 1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか。
- 2 付属品はすべてそろっていますか。

付属品

リモコン × 1 	単4乾電池 × 2 	AM用ループアンテナ × 1 	FMアンテナ × 1 
			取扱説明書 × 1 保証書 × 1

接続のしかた

接続上のご注意

接続前に、本機および外部機器の電源を切ってください。

接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。

しっかりと差し込まれていないと、雑音がでたり、スピーカーをいためる原因になります。

外部機器によって、接続方法や端子名が異なる場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

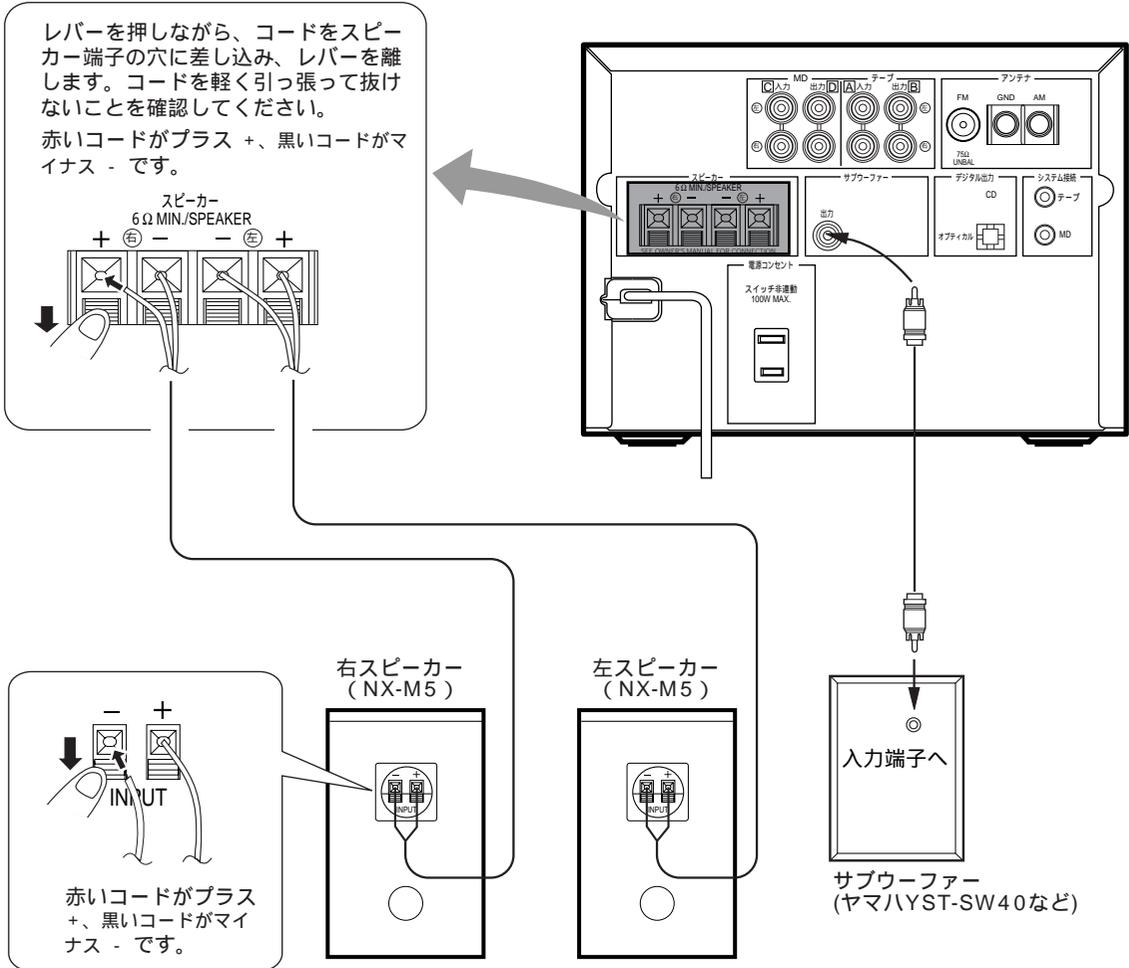
スピーカーの接続

接続する際に、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、極性(+/-)を確認して正しく接続してください。スピーカーコードの赤がプラス+です。極性(+/-)を間違えて接続した場合、不自然な再生音になります。

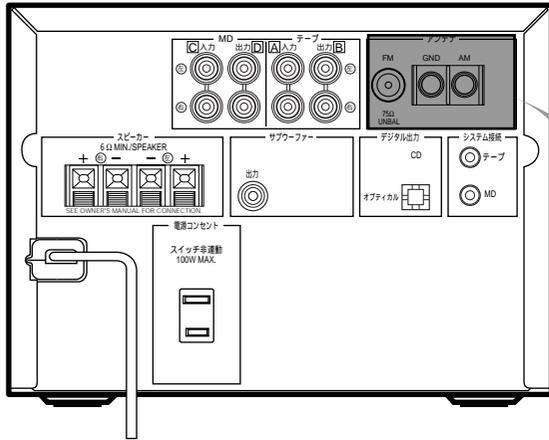
スピーカーコードを接続する場合、ショートしないように注意してください。ショートした状態で電源を入れると、保護回路が働いて自動的に電源が切れますが、故障の原因になる恐れがあります。

接続するスピーカーのインピーダンスは6Ω以上のものを使用してください。それ以下のインピーダンスのスピーカーを使用すると、故障する恐れがあります。

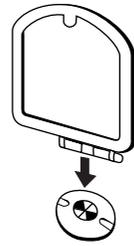
接続のしかた



付属アンテナの接続

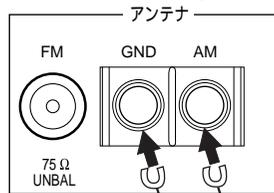
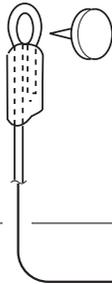


AM用ループアンテナを組み立てる

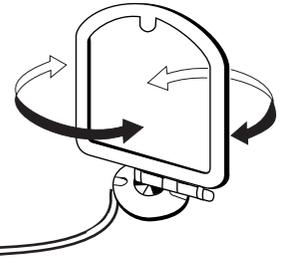


台にアンテナを差し込む

FM用アンテナ
放送を聞きながら、ひずみや雑音の最も少ない位置に押しピンなどで固定します。

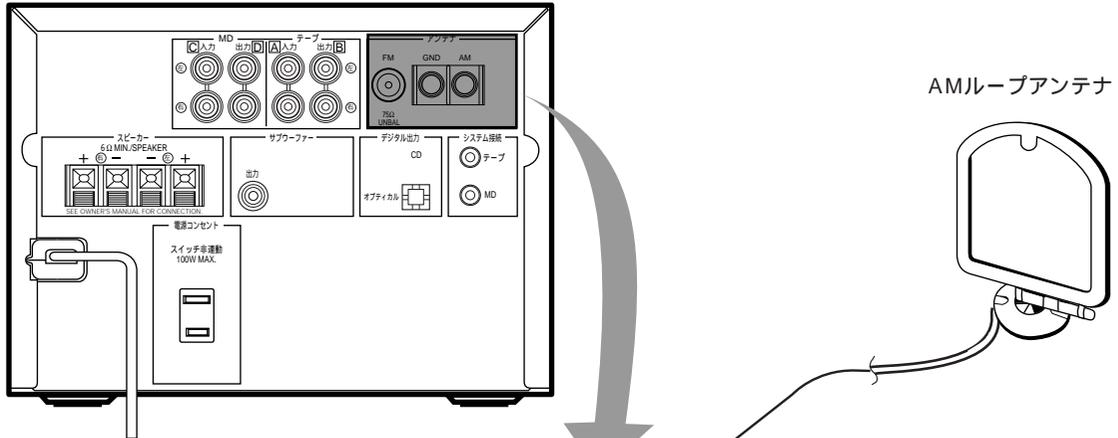


AM用ループアンテナ
放送が最もきれいに聞こえる方向にします。アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。



屋外アンテナの接続

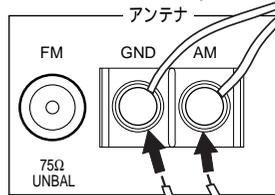
付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)



AMループアンテナ

FM用アンテナ
市販のFM屋外アンテナで受信してください。FM屋外アンテナに比べ特性は劣りますが、分配器を使いTV用アンテナを使用することも可能です。

75 同軸ケーブル (市販)



AM用アンテナ
できるだけ高さ7.5m、水平部15mに近い寸法のアンテナ線を屋根または地上に張ると効果的です。アースをつなぐとさらに感度がよくなります。

アース棒

屋外アンテナを立てる場所について

放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
ビルや山のかけなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
送電線の下には立てないでください。
送電線にアンテナが触れると大変危険です。

自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。
落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

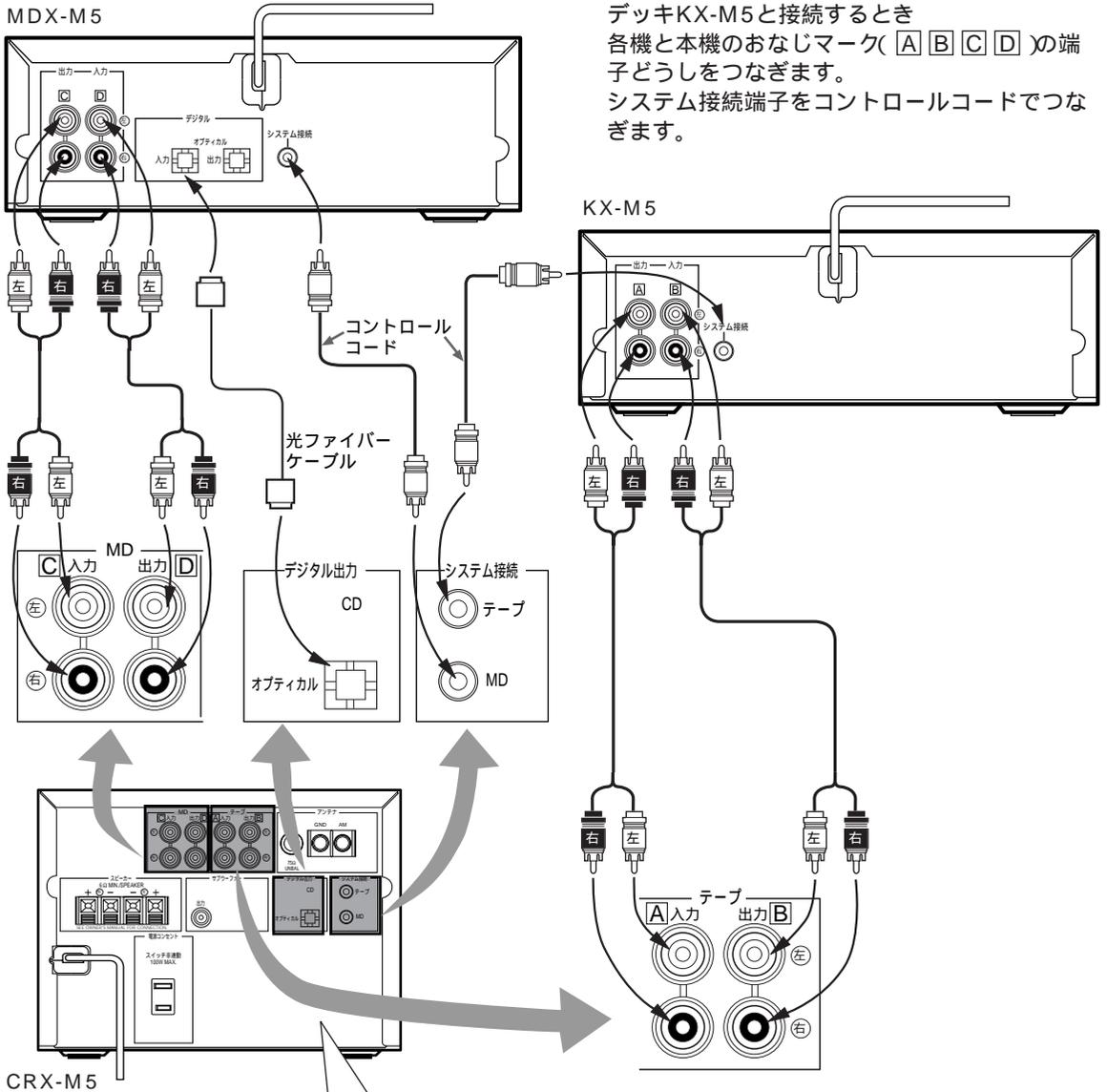
別売りのカセットデッキ / MDレコーダーの接続

接続上のご注意

接続は、本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。コードは本書の説明どおりに接続してください。音声信号の(右)端子には接続コードの赤のプラグを、(左)端子には白のプラグを接続します。

接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。機器によっては接続方法や端子名が異なる場合があります。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ヤマハ MDレコーダMDX-M5またはカセットデッキKX-M5と接続するとき各機と本機のおなじマーク(A B C D)の端子どうしをつなぎます。システム接続端子をコントロールコードでつなぎます。



CDデジタル端子に接続するときは、防塵キャップをはずしてください。

防塵キャップ

使用しないときは、ほこりなどを防ぐため、必ずキャップをしてください。

本機のCDデジタル端子はEIAJ規格に基づいて設計されています。EIAJ規格を満たさない光ファイバーケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。

CDデジタル出力端子について

この端子は、本機CDのデジタル信号(光)を出力します。OPTICAL INPUT端子を持つ録音機器(MD、DAT、DCCなど)と接続して、本機CDを録音することができます。

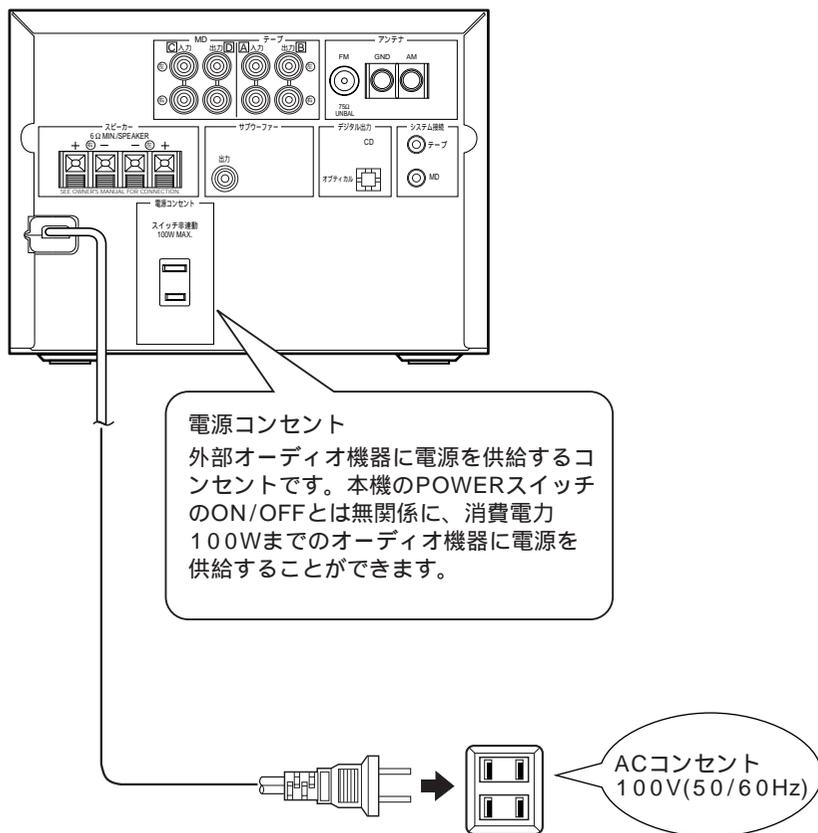
ご注意

CDデジタル出力端子は、他のファンクション(TUNER、TAPE、MD)の信号を出力しません。

電源コードの接続

接続が終わったあと、電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込んでください。

電源コードを接続すると、ディスプレイの時計表示が点滅します。まず最初に時刻合わせ(13ページ)を行ってください。

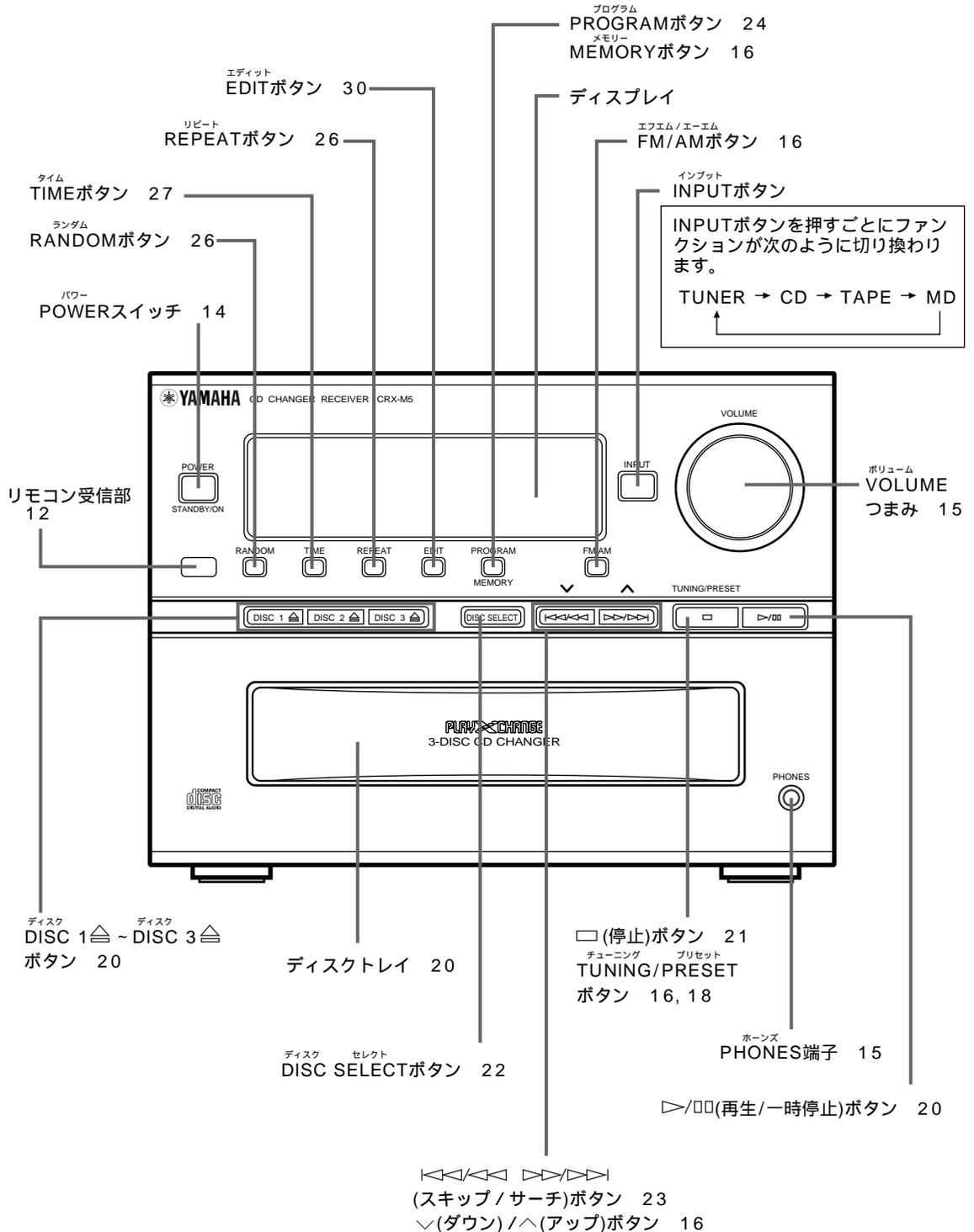


各部の名称

CDレシーバー

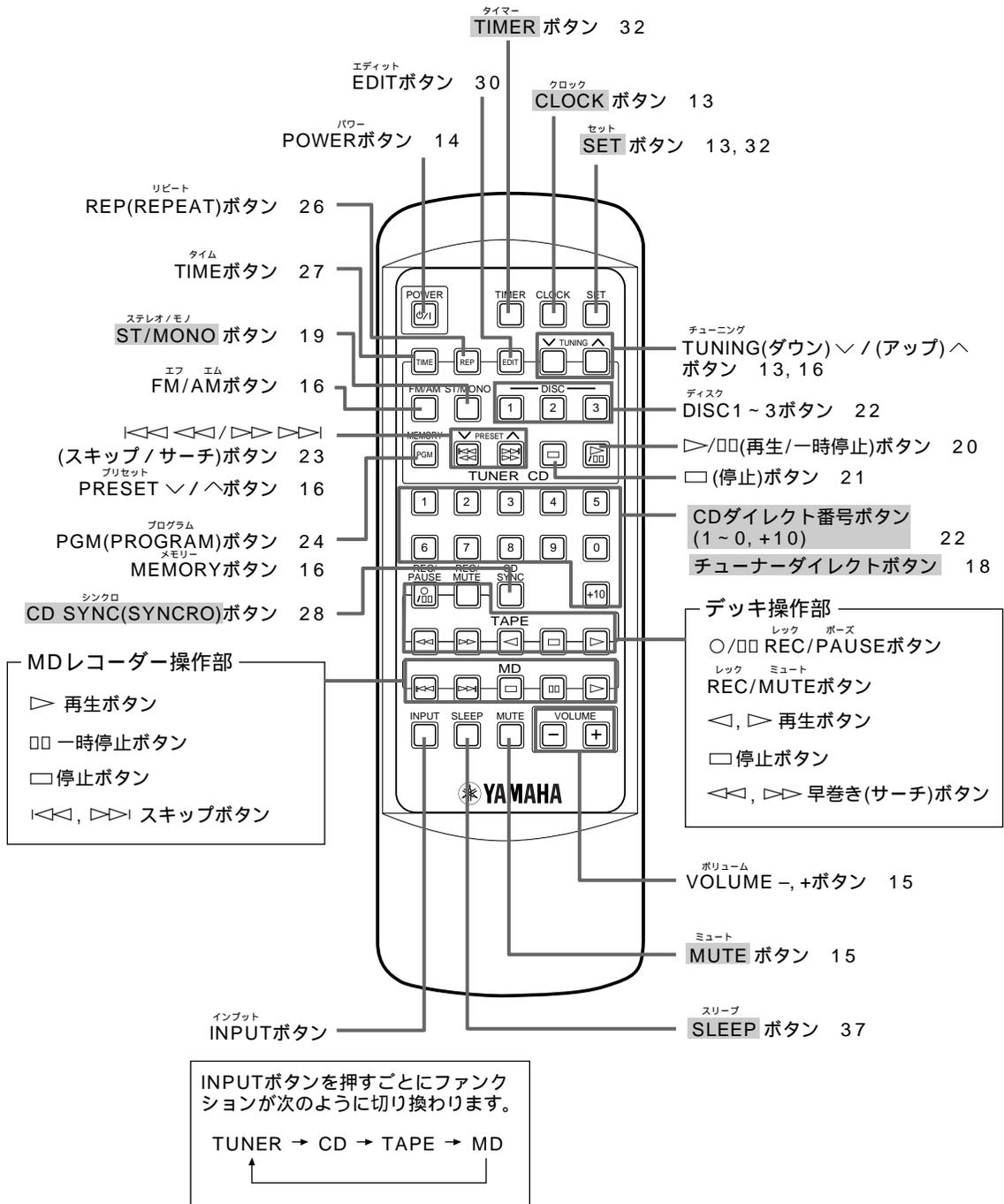
番号は本文で説明しているおもなページです。

各部の名称



リモコン

番号は本文で説明しているおもなページです。
 のボタンはリモコンでのみ操作できます。

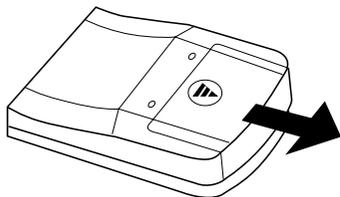


各部の名称

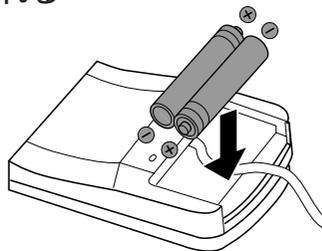
リモコンの準備

乾電池の入れかた

1 裏ぶたをはずす



2 ひもの上に単4乾電池(2個)を入れる



3 ひもを内側に入れて裏ぶたを戻す

乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれが起きたり破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

乾電池のプラス \oplus とマイナス \ominus の向きを表示どおりに正しく入れてください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

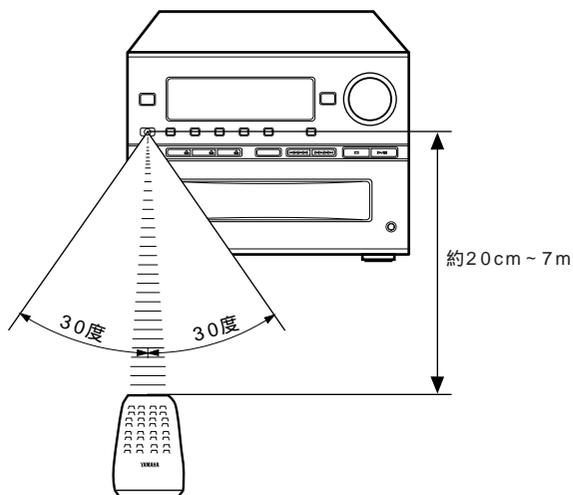
種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。

乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。

乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。

液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

リモコンの使用範囲



リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。

リモコン受信部に近寄らないと動作しない場合は、乾電池を交換してください。

リモコン取扱上のご注意

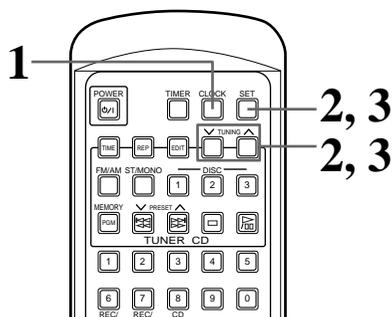
受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。

リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。受信部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっているとリモコンが働きにくくなります。

照明または製品本体の向きを変えてください。他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作しないことがあります。

時刻の合わせかた

電源コードをつなぐとディスプレイ部が、点滅します。下記の方法で時刻を合わせてください。



(例) 午前10時30分に合わせるとき

1 時計合わせの表示にする

クロック
CLOCKボタンを“時”表示が点滅するまで押し続ける



2 “時” を合わせる

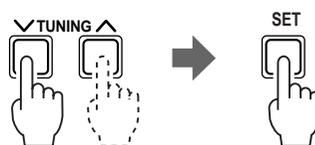
チューニング
TUNINGボタンで“時”表示を合わせ、
希望の時刻でSETボタンを押す



3 “分” を合わせる

チューニング
TUNINGボタンで“分”表示を合わせ、
希望の時刻でSETボタンを押す

“分”設定中は、表示が“59”から
“00”になっても設定した時間は変わりません。
“0”秒からスタートします。
秒まで正しく合わせるときは電話の
時報サービス(117番:有料)をご利用
になると便利です。



電源コードが抜けたり、停電になると、時計は停止します。

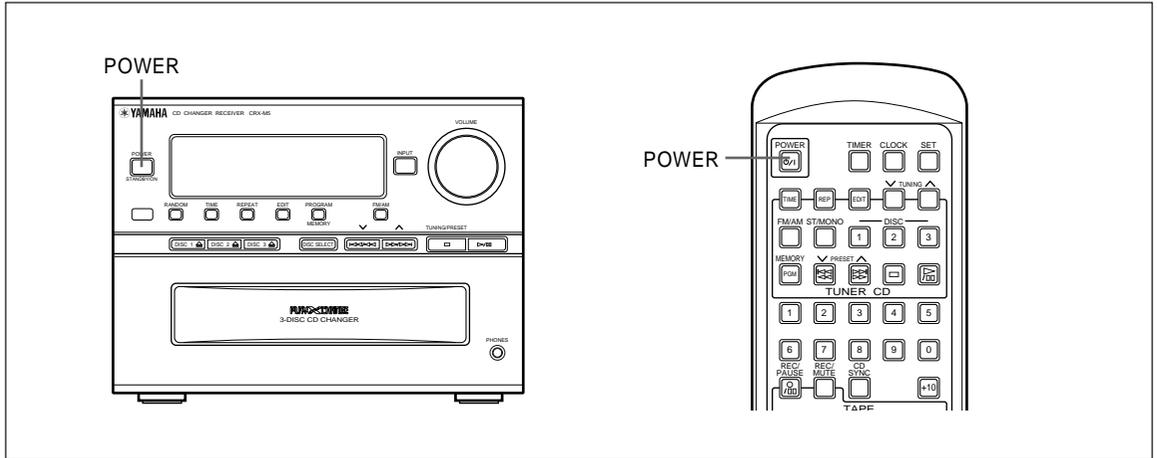
再び、通電すると時計表示が点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。

時計表示が点滅状態になっていると、タイマー再生・タイマー録音はできません。

ディスプレイがファンクション表示のとき、時計表示にして時間を確認したいときは、CLOCKボタンを押します。

基本操作(電源・音量)

電源を入れる・切るには



電源プラグがコンセントに接続され、本機の電源が切れている状態をスタンバイ状態 (STANDBY) といいます。スタンバイ状態ではメモリー保持のため微弱な通電を行っており、時計表示が点灯 (時刻合わせをしてある場合) または点滅 (時刻合わせをしていない場合) します。この状態で、本機およびリモコンのPOWERボタンを押すと電源の入/切ができます。

音楽のエチケット

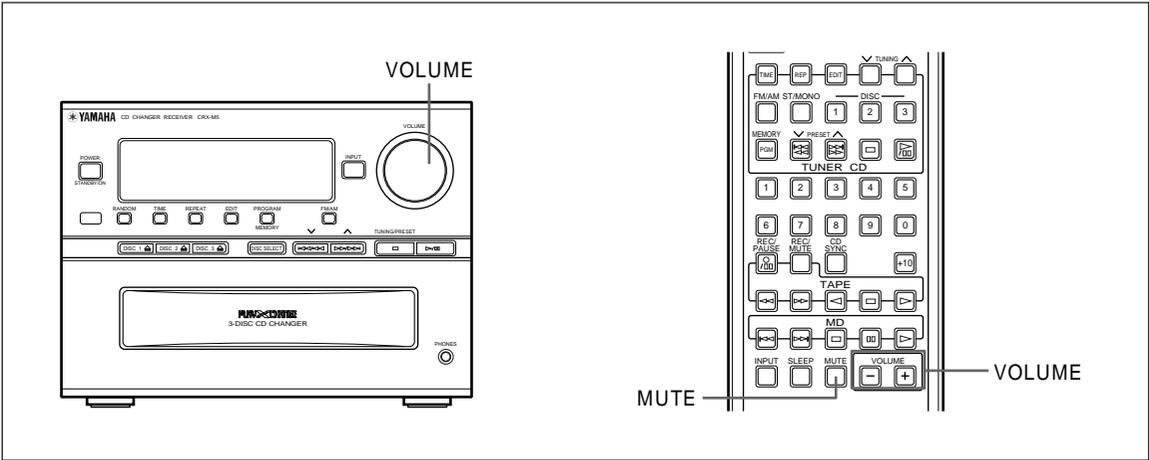


楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

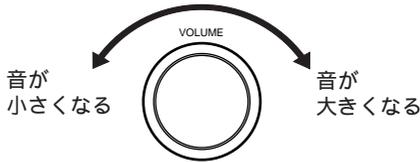
ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

音量を変えるには



本体

ボリューム
VOLUMEつまみを回す



一時的に音を消すには

ミュート
リモコンのMUTEボタンを押します。音が消え、ディスプレイのMUTE表示が点滅します。もとの音量に
ミュート
戻すときは、もう一度MUTEボタンを押します。

ヘッドホンで聞くには

接続するときは音量を下げてください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聞こえなくなります。
インピーダンス16 ~ 50 (推奨32)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。

リモコン

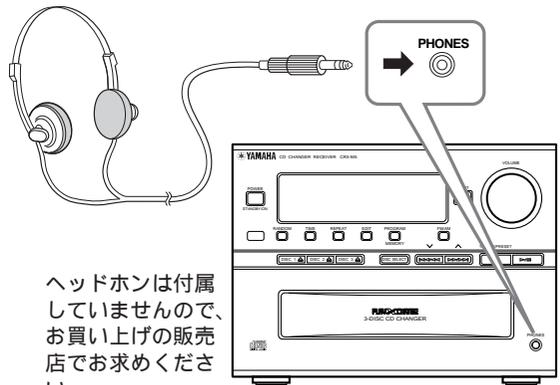
ボリューム
VOLUMEボタンの '+' または '-' を押す



音量はMIN(最小)0からMAX(最大)64のあいだで調節でき、調節した音量が一時的に表示されます。

ご注意

デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量(最大付近)で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。

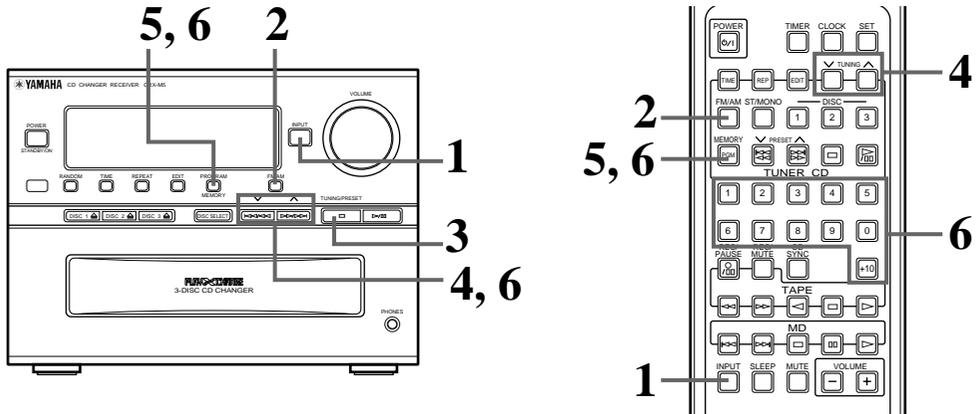


ヘッドホンは付属していませんので、お買い上げの販売店でお求めください。

ラジオ放送を聞くには

まず最初に放送局を記憶させます。FMとAM合わせて30局記憶(メモリー)することができ、簡単に呼び出すことができます。

放送局を記憶させるには



1 ファンクションをチューナーにする

ディスプレイに周波数が表示されるま
インプット
でINPUTボタンを何回か押す

本体



リモコン



2 放送の種類(バンド)を選ぶ

エフエム エーエム
FM/AMボタンを押してFMまたはAM
を選ぶ

本体



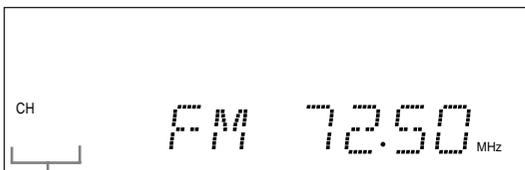
リモコン



3 チューニングモードにする

チューニング プリセット
TUNING/PRESETボタンを押して
ディスプレイのプリセット番号を消灯
させる

本体



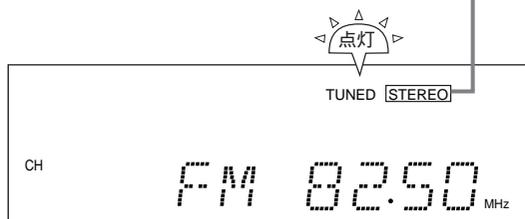
プリセット番号を消灯させる

4 放送局を受信する

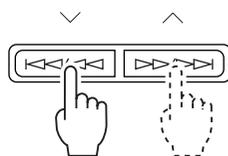
本体の▽(ダウン)/△(アップ)ボタン
チューニング
 または、リモコンのTUNING▽(ダウン)/△(アップ)ボタンで希望の放送局の周波数に合わせる

受信するとディスプレイに“TUNED”が点灯します。

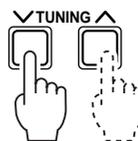
ステレオ放送を受信すると点灯
 (電波が弱いと点灯しない場合があります。)



本体



リモコン

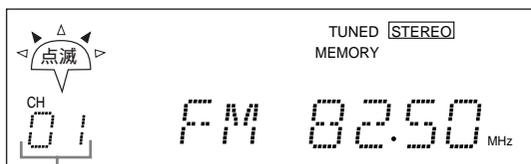


▽(ダウン): 周波数が小さくなる
 △(アップ): 周波数が大きくなる

一回押すごとに、1ステップずつ周波数が変わります。押し続けると連続して周波数が変わります。0.5秒以上押し続けて離すと、自動的に放送局を捜し、受信すると停止します。ディスプレイに“AUTO”が点灯します。

5 MEMORYボタンを押す

ディスプレイのプリセット番号が点滅します。



プリセット番号

本体



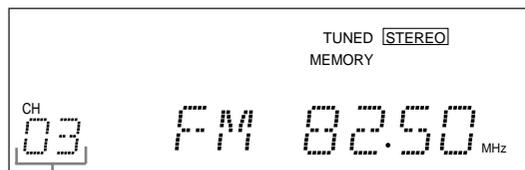
リモコン



↓ (5秒以内)

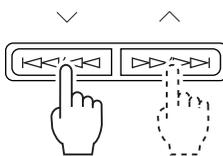
6 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

本体の▽(ダウン)/△(アップ)ボタン
 またはリモコンの数字ボタンで番号を選んで、MEMORYボタンを押すと選んだプリセット番号に記憶されます

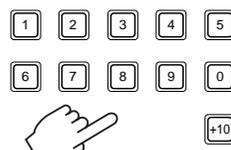


プリセット番号

本体



リモコン



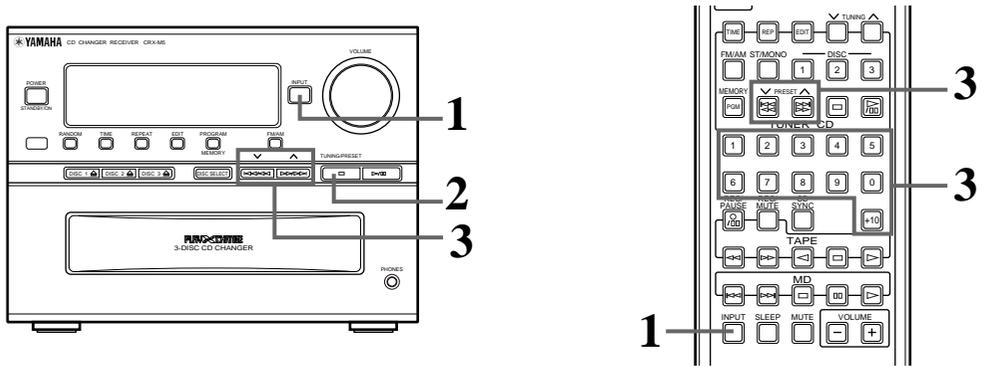
リモコンで10以上の番号を選ぶとき:

⓪を押して10の位を決め、次に1の位を①~⑩ボタンで指定します。

2から6を繰り返し、希望の放送局を30局まで記憶させることができます。

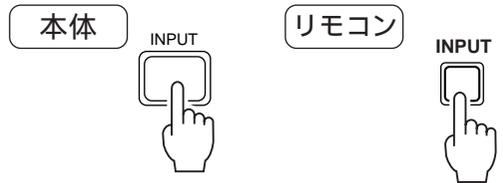
ラジオ放送を聞くには

記憶した放送局を呼び出すには



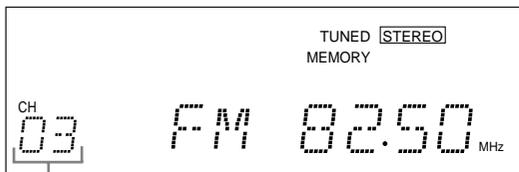
1 ファンクションをチューナーにする

ディスプレイに周波数が表示されるま
インプット
でINPUTボタンを何回か押す
最後に聞いていた放送局を受信しま
す。

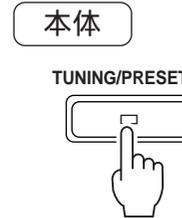


2 プリセットモードにする

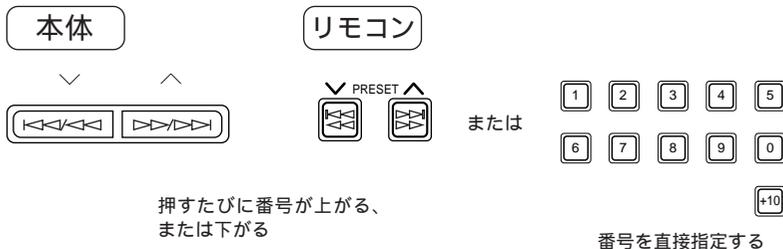
チューニング プリセット
TUNING/PRESETボタンを押して
ディスプレイのプリセット番号を点灯
させる



プリセット番号



3 記憶させた番号を選ぶ



押すたびに番号が上がる、
または下がる

番号を直接指定する

FM放送がよく受信できないときは

電波の弱い局では、ステレオモードで受信すると雑音が出ることがあります。このような場合は、モノラルモードで受信すると雑音を低減することができます。リモコンのST/MONOボタンで切りかえてください。

テレビ放送を受信するには

次のFM周波数に合わせると、テレビ放送（1～3チャンネル）を受信できます。FM/AMボタンでFMを選んで受信します。

チャンネル	周波数
1	95.75MHz
2	101.75MHz
3	107.75MHz

ステレオ放送を受信しても音声はモノラルになります。

FM放送とテレビ放送では音声レベルが異なります。これは放送局の方式の違いによるものです。本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声にFM放送が混信することがあります。

チューナーの記憶保持について

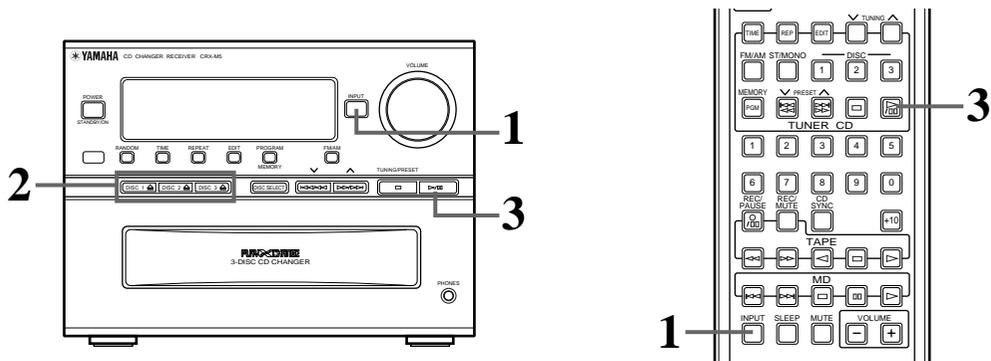
一週間は電源コードを電源コンセントから外しても、チューナーの記憶内容は消えずに記憶しています。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

ご注意

テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。コンピューターやワープロなどのデジタル機器の近くでラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、本機との距離を離してください。

CDを聞くには

1 曲目から聞くには



1 ファンクションをCDにする

ディスプレイに“TRACK”が表示される
インプット
までINPUTボタンを何回か押す

本体

リモコン



2 ディスクトレイを開けて、CDを入れる

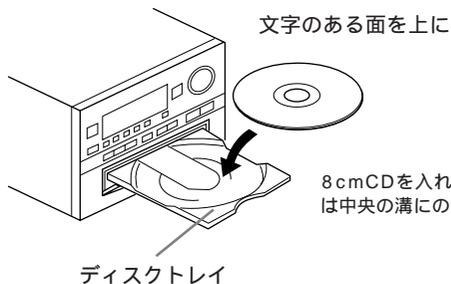
ディスク
DISC 1 ボタンを押す

ディスクトレイ1が出てきます。

ディスク
もう一度DISC 1 ボタンを押すとト
レイが閉ります。

ディスクトレイ2、ディスクトレイ3に
CDを入れる場合は、それぞれ、
ディスク ディスク
DISC 2 、DISC 3 ボタンを押し
てトレイを出します。

本体

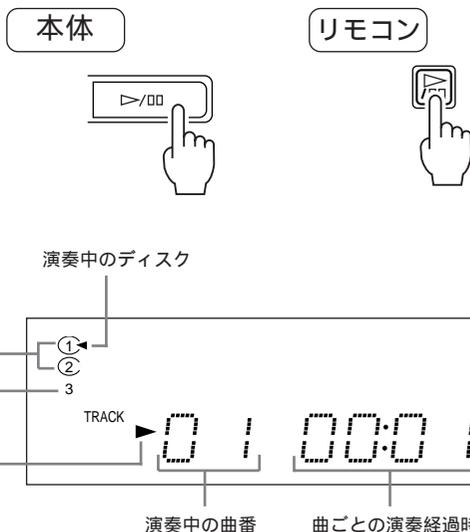


3 演奏を始める

▷/00ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、CDの演奏が始まります。

音量は15ページをごらんのうえ調整してください。



演奏を一時的に止めるには▷/00

▷/00ボタンを押す

“00”表示が点灯します。

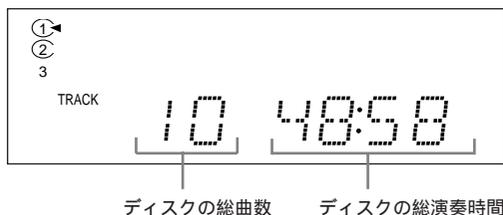
再び演奏を始めるときは、もう一度▷/00ボタンを押す

止めたところから演奏が始まります。

演奏を止めるには□

□ボタンを押す

ディスクの総曲数と総演奏時間が表示されます。



ワンタッチ演奏 (オートファンクション)

電源が入っていて、CDがディスクトレイに入っている場合、他のファンクションを再生中でも、▷/00ボタンまたはRANDOMボタンを押すと、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。

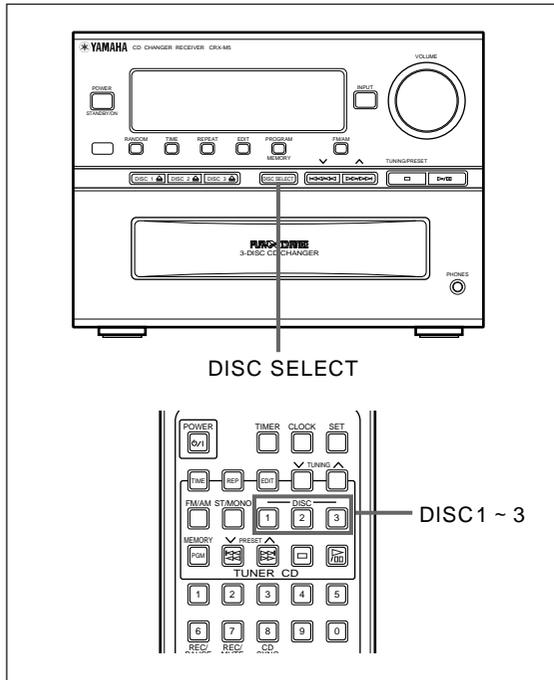
テープ演奏中の場合はテープが停止します。

ご注意

CDをディスクトレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

CDを聞くには

好きなCDから演奏するには



本体

ディスク セレクト

DISC SELECTボタンを押して
ディスク番号を選ぶ



①
② ← 選んだディスク
番号の横に◀が
点灯します
③

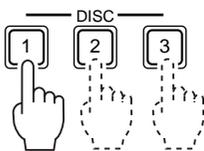
停止中に操作した場合、演奏を始めるには▶/00
ボタンを押します。

リモコン

演奏したいディスク番号の

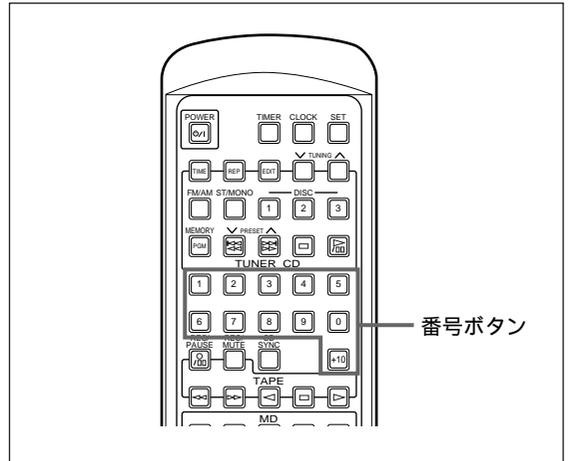
ディスク ディスク

DISC 1 ~ DISC 3ボタンを押す



選んだディスク番号にディスクがあると、自動的に
演奏を始めます。

曲番を指定して聞くには (ダイレクト選曲)



リモコンの番号ボタンで曲番を指定
する

① ~ ⑨、⑩ ボタン : 1の位を指定

⑪ ボタン : 10の位を指定

12曲目を選ぶときは

⑪ ⑫ と押します。

20曲目を選ぶときは

⑪ ⑪ ⑩ と押します。

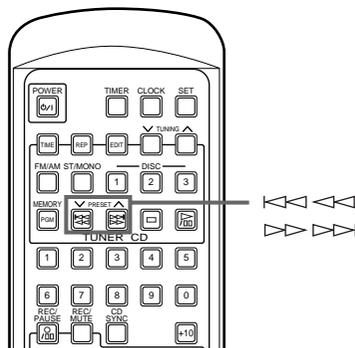
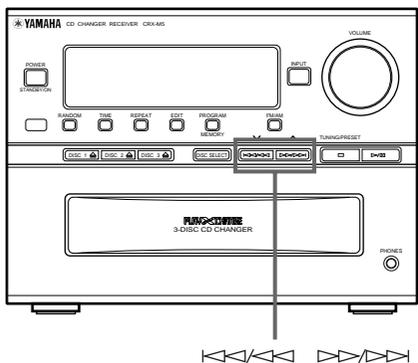
2つ以上のボタンを押すときは、3秒以内に押します。

選んだ曲の頭から演奏を始めます。

とびこして聞くには (自動頭出し)

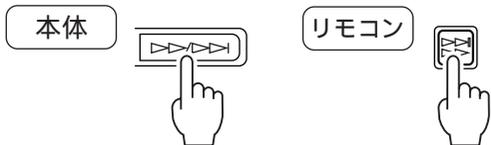
聞きたい所をさがすには (スピードサーチ)

◀◀/▶▶、▶▶/▶▶ ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。

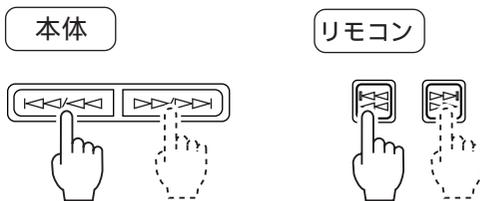


次の曲の頭から聞くには

演奏中に、▶▶/▶▶スキップボタンを押す

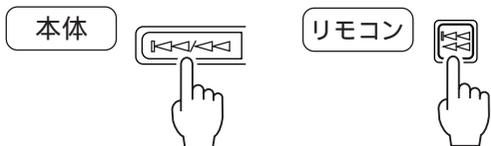


1 演奏中に、サーチボタンを押し続ける



演奏中の曲を聞き直すには

演奏中に、◀◀/◀◀スキップボタンを押す



2 聞きたい所で、サーチボタンから指を離す

その位置から演奏が始まり、元の音量に戻ります。

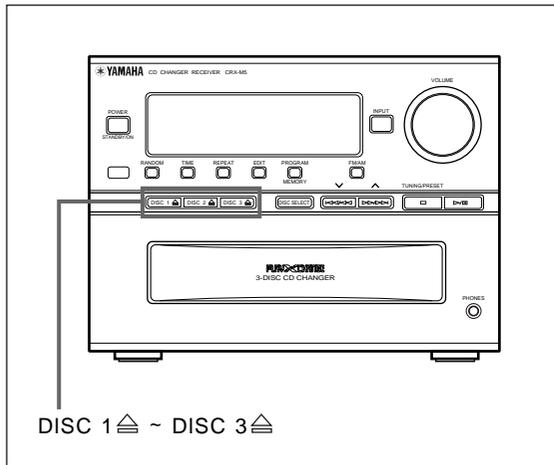
くり返して押し続けると、曲番は大きく▶▶/▶▶(小さく◀◀/◀◀)なり、表示された曲番から演奏が始まります。

メモ
一時停止中でもサーチ操作ができます。(音声なし)

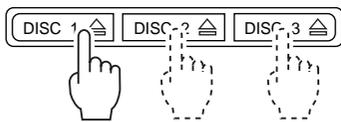
メモ
停止中では、曲番が選べます。演奏したい曲番が表示されたら、▶/▶▶ボタンを押して演奏を始めます。

CDを聞くには

演奏中に他のディスクを交換するには



ディスクを交換したいトレイの
ディスク
DISC ≡ ボタンを押す



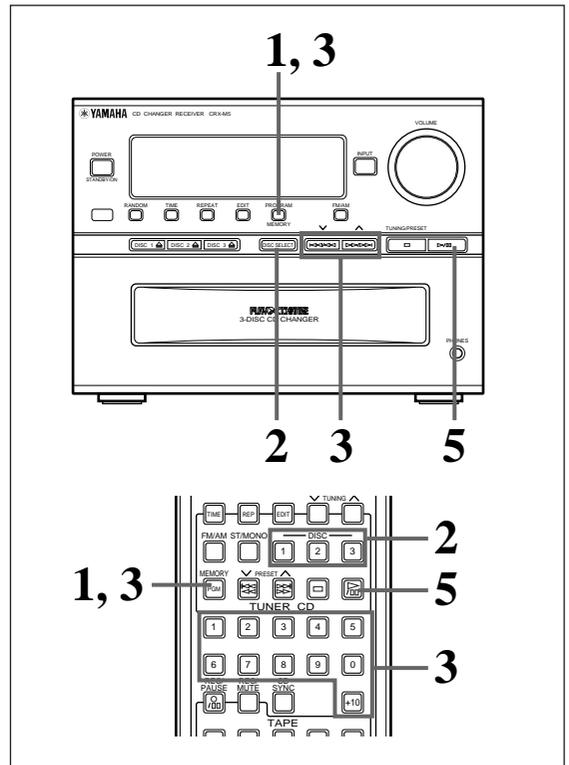
演奏中に他のディスクのDISC ≡ ボタンを押すと、
CDを演奏したままトレイを開閉できます。演奏中に
他のディスクの交換や取り出しができます。

聞きたい曲を聞きたい順に記憶させるには (プログラム演奏)

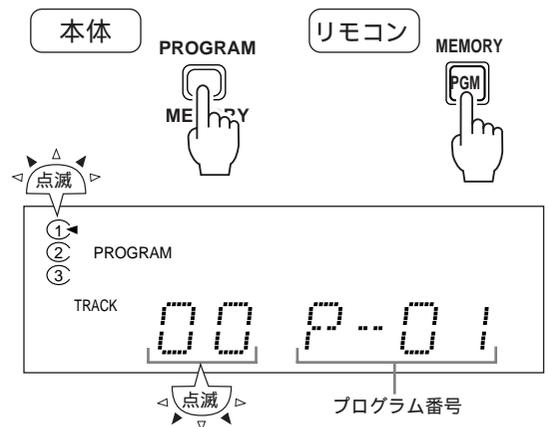
聞きたい曲を最大で20曲までプログラムして、好きな順に聞くことができます。
プログラムする曲は、3枚のディスクから選べます。

ご注意

プログラム操作は、停止中にのみ行えます。

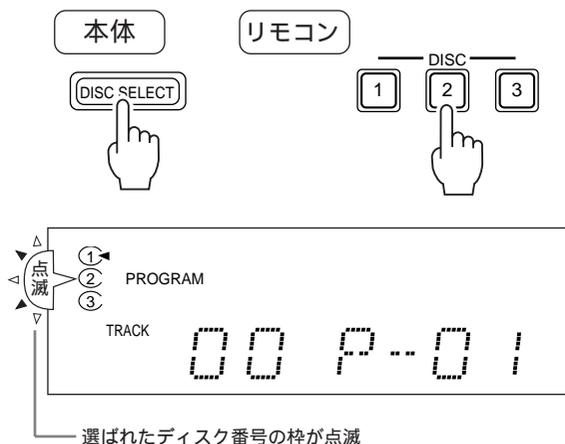


1 停止中に、PROGRAMボタンを押す



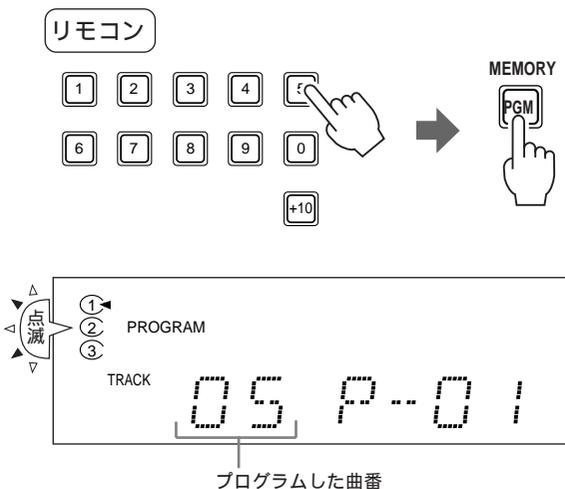
2 本体のDISC SELECTボタン またはリモコンのDISCボタン でディスクを選ぶ

選ばれているディスクをプログラムする場合は、操作する必要はありません。3の操作をしてください。



3 リモコンの番号ボタン またはサーチボタン ◀◀/▶▶ ▶▶/▶▶ で曲番を選び PROGRAMボタンを押す

番号ボタンの使いかたは、22ページの「曲番を指定して聞くには」を見てください。



4 手順2、3をくり返して好きな曲をプログラムする (20曲まで選べます)

5 ▷/00ボタンを押す

プログラム演奏がスタートします。



プログラムの確認 / 訂正

1. 停止中に、PROGRAMボタンを押す
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
2. プログラムを訂正したいとき
訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC 1～3と番号ボタンで選び、PROGRAMボタンを押します。

プログラムの解除

停止中に □ (停止) ボタンを押す
プログラムされた内容はすべて解除されます。またトレイを開けたり、INPUTボタンでファンクションを切り換えたり、電源を切ると同様に解除されます。

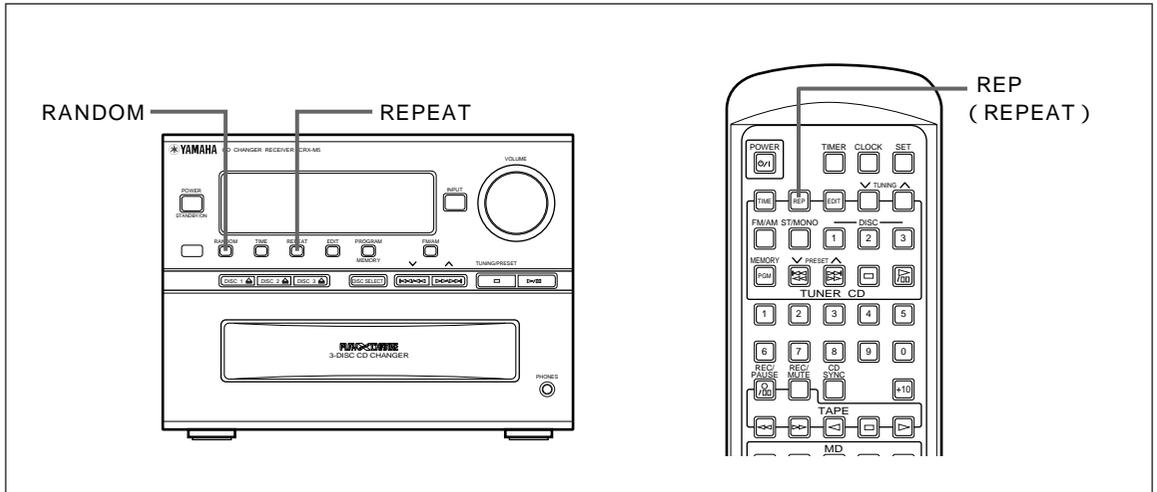
メモ

スキップボタンでプログラムした曲の自動頭出し(23ページ)ができます。

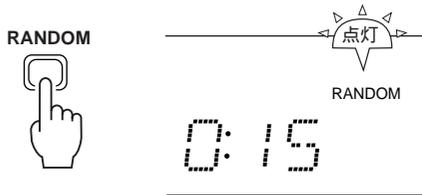
CDを聞くには

順不同で聞くには (ランダム演奏)

くり返し聞くには (くり返し演奏)



ランダム RANDOMボタンを押す



選ばれているDISC内の曲をランダム演奏します。

ご注意

プログラムした曲をランダム演奏することはできません。

解除のしかた

□ (停止) ボタンまたはRANDOMボタンを押します。

リピート REPEATボタンを押す



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

1 曲リピート: REPEAT 1

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

ディスクリピート: REPEAT 1DISC

1枚のディスク内のすべての曲を繰り返し演奏します。

全ディスクリピート: REPEAT ALL DISC

セットされているディスク内のすべての曲を繰り返し演奏します。

リピート解除: 消灯

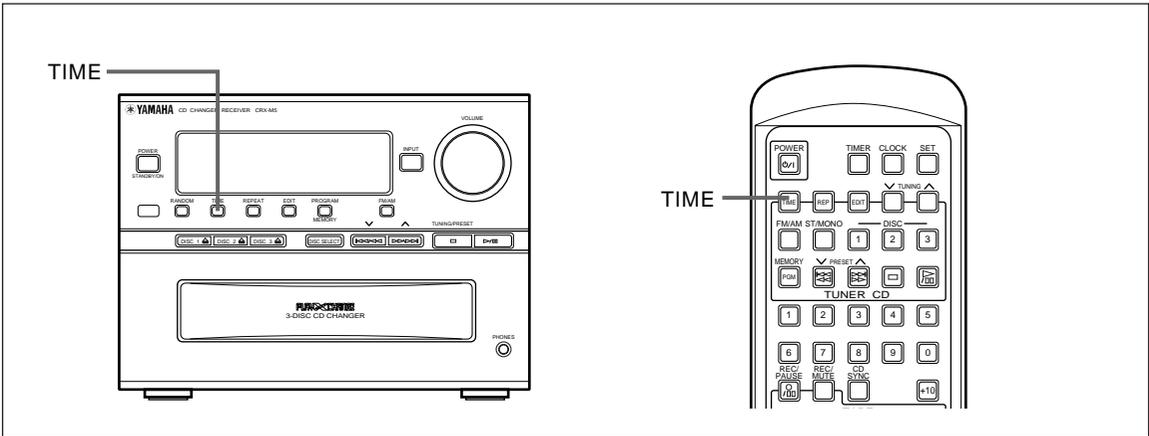
メモ

ディスクリピートモードでランダム演奏もくり返し演奏できます。

ご注意

オートエディット(30ページ)のリピートはできません。

演奏時間の表示を切り換えるには



タイム
TIMEボタンを押す



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

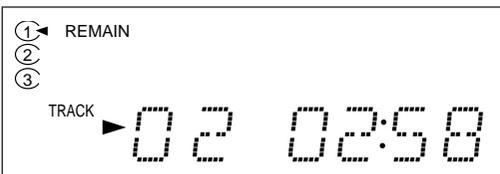
例) 2曲目を演奏しているとき

曲ごとの演奏経過時間



2曲目の頭から8秒経過

曲ごとの残り時間 (REMAIN表示)



2曲目の終わりまであと2分58秒

総残り時間 (REMAIN TOTAL 表示)



CDの終わりまであと41分

ランダム演奏中、プログラム演奏中は、総残り時間の表示はしません。

CDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。

CDを録音するには

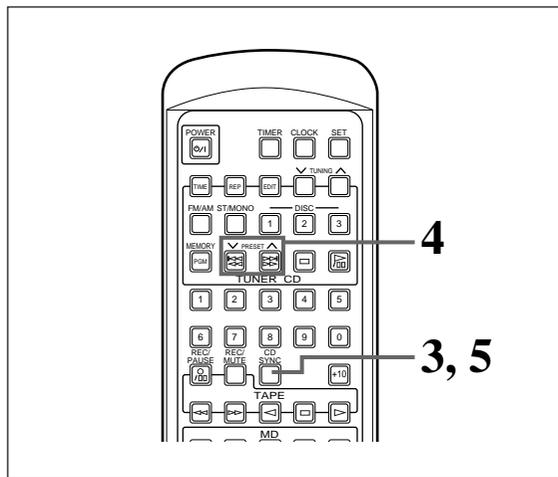
シンクロ録音

CDの再生とMDまたはデッキの録音が連動して始まるCDシンクロ機能を使えば、CDからMDまたはテープへの録音が簡単にできます。

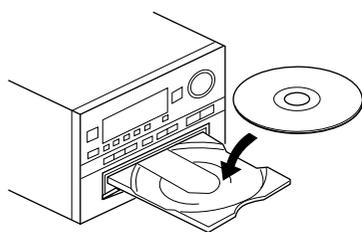
CDシンクロ録音は、別売のMDレコーダMDX-M5またはカセットデッキKX-M5と組み合わせて行ないます。

MDX-M5にシンクロ録音するときは光ファイバーケーブルを接続しておいてください。

(自動的にデジタル入力選ばれます。)



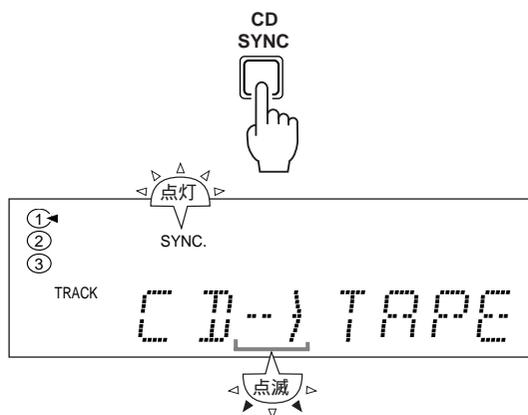
1 CDをセットする



2 MDレコーダにMD(デッキにテープ)を入れて録音の準備をする

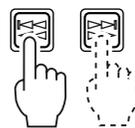
録音の準備操作については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。デッキのMODEが「2」のときは、片面だけの録音になります。

3 CD SYNCボタンを押す

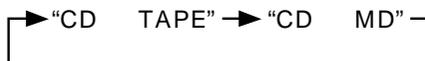


4 シンクロ録音する機器を選ぶ

◀◀◀◀/▶▶▶▶ ボタンでテープかMDかを選ぶ



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



5 CDシンクロ録音をスタートさせる

CD SYNCボタンを押す



テープ長に余裕があっても、CD演奏終了後に録音は停止します。

操作1で曲番を指定しておく、その曲からシンクロ録音が始まります。

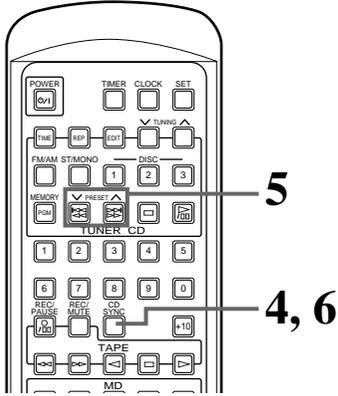
シンクロ機能を取り消すには

CDの□(停止)ボタンを押す
録音が始まっている場合には、テープに4秒間の無録音部分を作って終了します。

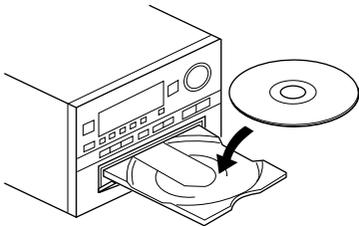
または
MDレコーダ(またはデッキ)の□(停止)ボタンを押す
CDも自動的に止まります。

プログラムシンクロ録音

好みの曲を選んでシンクロ録音できます。



1 CDをセットする



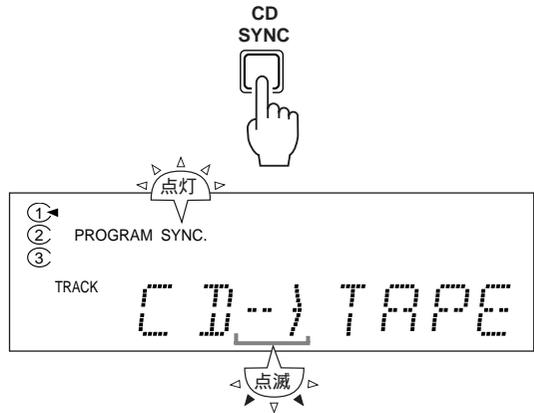
2 MDレコーダにMD(デッキにテープ)を入れて録音の準備をする

録音の準備操作については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。デッキのMODEが「二」のときは、片面だけの録音になります。

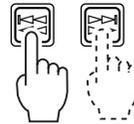
3 プログラム選曲する

24～25ページの1～4の操作をする。

4 CD SYNCボタンを押す



5 シンクロ録音する機器を選ぶ ◀◀◀◀/▶▶▶▶ ボタンでテープかMDかを選ぶ



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



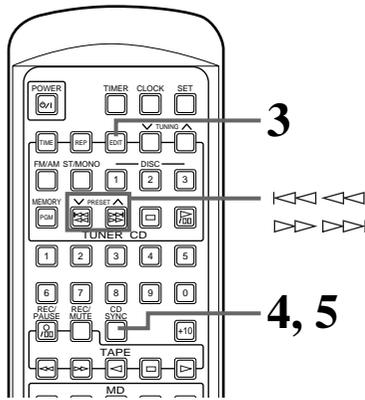
6 CDシンクロ録音をスタートさせる CD SYNCボタンを押す



CDを録音するには

オートエディットシンクロ録音

テープの長さを指定すると、本機がCDを自動的に編集して、シンクロ録音ができます。オートエディットシンクロ録音は1枚のCDの中からのみできます。



1 録音したいCDを数秒間演奏し、停止する

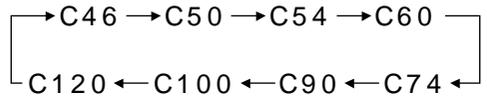
2 デッキにテープを入れて録音の準備をする

録音の準備操作については、KX-M5の取扱説明書10ページの手順1~3をご覧ください。デッキのMODEは「」を選んでください。

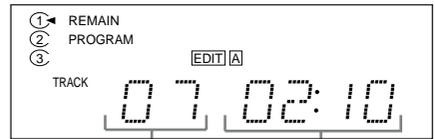
3 テープの長さを選ぶ
EDITボタンを押す EDIT



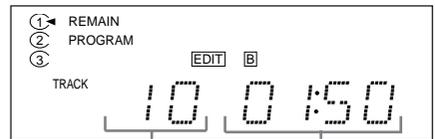
ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



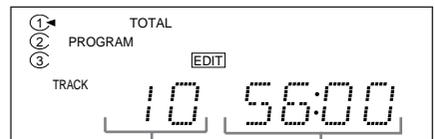
テープの長さに合わせて、A面、B面に録音できる曲を自動編集します。



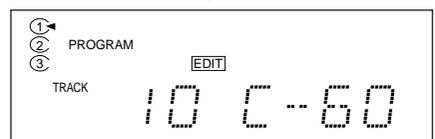
A面の最後にプログラムされた曲番 テープA面の余った時間



B面の最後にプログラムされた曲番 テープB面の余った時間

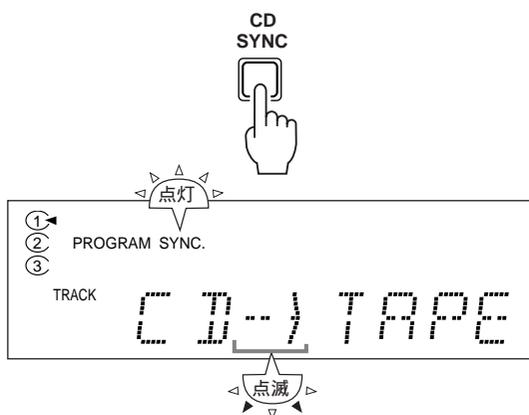


A面・B面にプログラムされた曲数 A面・B面の合計録音時間



自動編集完了

4 CD SYNCボタンを押す



CD SYNCボタンを押して“CD MD”が表示されたときは、◀◀◀◀/▶▶▶▶ボタンを押して“CD TAPE”表示にします。

5 CDシンクロ録音をスタートさせる

CD SYNCボタンを押す



テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。

CDからMDレコーダとデッキへ同時に録音する

シンクロ録音と同様に、別売のMDレコーダMDX-M5およびカセットデッキKX-M5と組み合わせで行います。

1 INPUTボタンを押して、ファンクションをCDにする。

2 デッキにテープを入れ、録音待機状態にする。

3 MDレコーダにMDを入れ、録音待機状態にする。

4 CDを再生する。
デッキとMDレコーダの録音待機状態が解除され、録音が自動的に始まります。

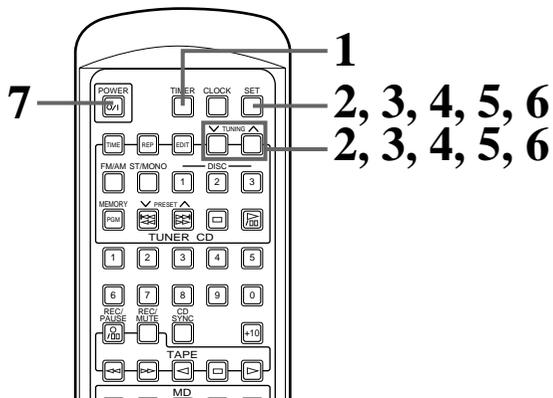
録音を一時停止するには
CDの▷/□ボタンを押します。CDの再生、デッキおよびMDレコーダが一時停止します。MDの場合は録音を一時停止すると、曲番は変わります。例えば、4曲目を録音中に一時停止したあと、再び録音を始めると、そこからは5曲目として録音されます。

録音を再び始めるには
CDの▷/□ボタンをもう一度押します。CDの再生が始まり、デッキおよびMDレコーダの録音が始まります。

録音を止めるには
本機の□を押すとCDの再生、デッキおよびMDレコーダが停止します。

タイマーを使うには

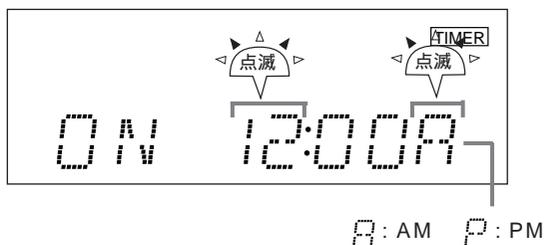
タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。(13ページ)



タイマー再生をするには (例えば、朝CDを聞いて起きたい場合)

1 タイマー設定モードにする

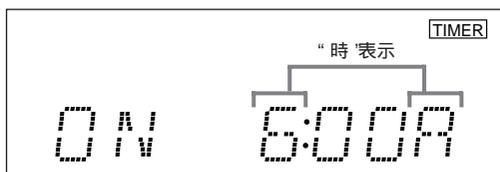
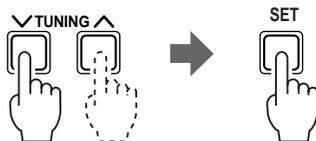
TIMERボタンを2秒以上押してタイマー設定表示にする



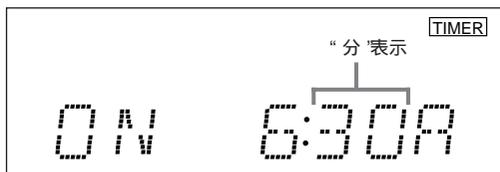
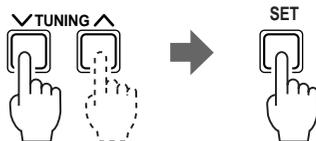
A: AM P: PM

2 開始時刻を設定する

“時”を合わせる

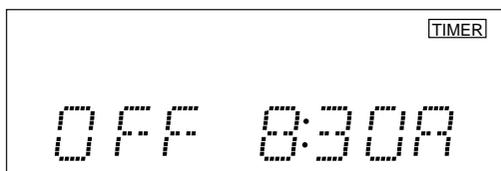


“分”を合わせる



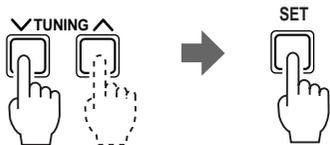
3 終了時刻を設定する

上の「2 開始時刻を設定する」と同じ手順で時刻を設定する

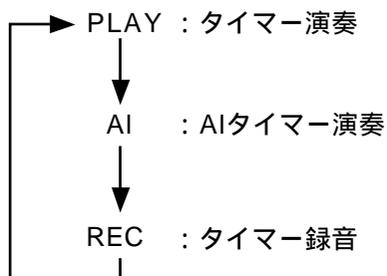


4 タイマーの種類(PLAY、AI、REC)を選ぶ

TUNING √ / ^ ボタンで選んで、SET ボタンを押す



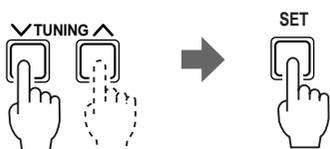
TUNING √ / ^ ボタンを押すと次のように切り換わります。



AIタイマー演奏
音量のレベルが18から41まで5秒間隔でだんだん大きくなります。タイマー演奏中に何かボタンを押すと音量はそれ以上大きくなりません。

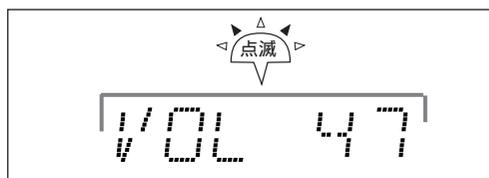
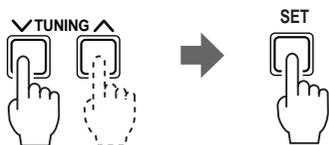
5 演奏するソース(TUNER, CD, TAPE, MD)を選ぶ

TUNING √ / ^ ボタンで選んで、SET ボタンを押す



6 音量を設定する

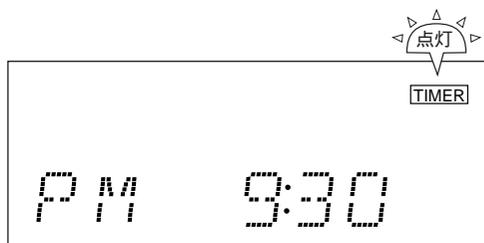
TUNING √ / ^ ボタンで音量を設定して、SET ボタンを押す



手順4でAIモードを選んだときは、この手順はなくなります。

7 電源を切る

POWER ボタンを押す



タイマーを使うには

タイマー設定を確かめるには

TIMERボタンを押すと、各設定が表示されます。

タイマー動作を中止するには

TIMERボタンを押してTIMER表示を消してください。

タイマーの記憶について

タイマー設定した内容は、電源コードを抜いたり停電しても、約5分までは設定した内容を記憶しています。

タイマー録音をするには(ラジオ放送を留守録音したい場合)

タイマー録音は、別売のMDレコーダMDX-M5またはカセットデッキKX-M5と組み合わせて行ないます。

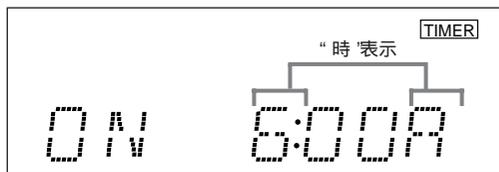
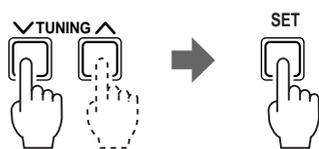
1 タイマー設定モードにする

TIMERボタンを2秒以上押してタイマー設定表示にする

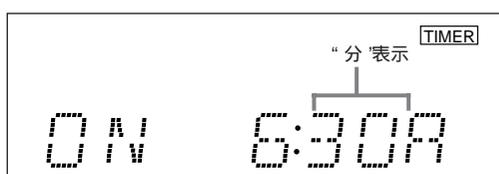
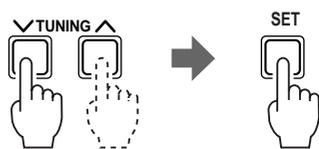


2 開始時刻を設定する

“時”を合わせる

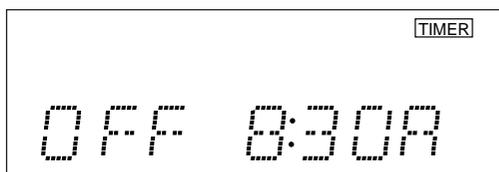


“分”を合わせる



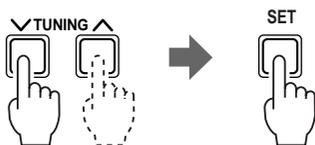
3 終了時刻を設定する

上の「2 開始時刻を設定する」と同じ手順で時刻を設定する。



4 タイマー録音(REC)を選ぶ

TUNING ∨ / ∧ ボタンで選んで、SET ボタンを押す

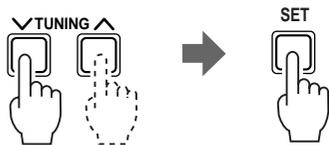


タイマーを使うには

タイマーを使うには

5 録音する放送局を選ぶ

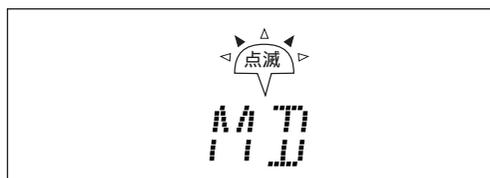
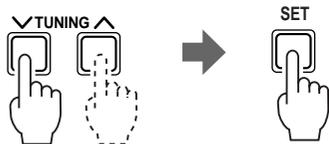
TUNING ∨ / ∧ ボタンでチューナーのプリセット番号を選んで、SET ボタンを押す



プリセット番号

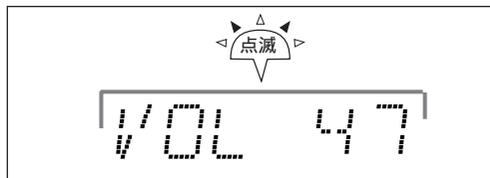
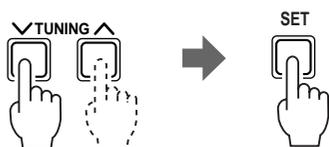
6 録音する機器 (TAPE または MD) を選ぶ

TUNING ∨ / ∧ ボタンで選んで、SET ボタンを押す



7 音量を設定する

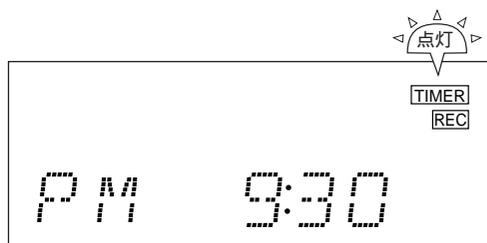
TUNING ∨ / ∧ ボタンで音量を設定して、SET ボタンを押す



留守のときはMINにしましょう。

8 電源を切る

POWER ボタンを押す



設定した時刻がくるとタイマー録音が動作します。

ご注意

MDへタイマー録音する場合は、MDレコーダのREC INPUTをアナログにしてください。

聞きながらおやすみになるには(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、電源が切れます。

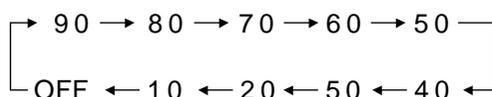
1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する

ラジオ放送、CDを聞きながらおやすみになれます。

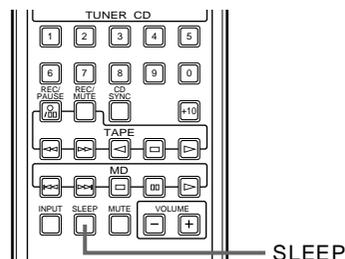
2 リモコンの^{スリープ}SLEEPボタンを押す

ディスプレイにSLEEP表示が点灯します。

ボタンを押すごとに、スリープ時間が次のように切り換わります。



(単位:分)



スリープ動作を途中でやめるには

^{スリープ}SLEEPボタンを何回か押して、SLEEP表示を消す
^{パワー}またはPOWERボタンを押して電源を切ります。

スリープタイマーと タイマー再生/タイマー録音の関係は？

スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー再生/タイマー録音の操作をすることができます。この場合は、タイマー再生/タイマー録音の時刻を設定したあと、電源は入れたままにしておきます。スリープタイマーが動作して電源が切れたあと、設定時刻になるとタイマー再生/録音が始まります。ただし、スリープ時間内にタイマー再生/録音の時刻が設定されているとタイマーは動作しないので、注意してください。

CDについて

コンパクトディスク CD(COMPACT DISC) について

規格外のディスクはご使用にならないでください。ハート型や花の形などの変形CD(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

取り扱いについて

必ず右図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。



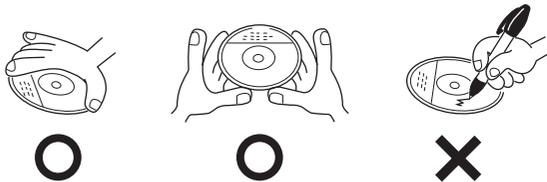
演奏面は、文字やラベルのない面です。

演奏面に触れないでください。

必ず、ディスクの縁を持ってください。

文字のある面を硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。

信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

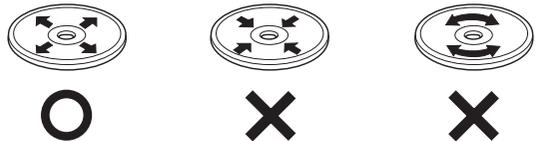
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内など)
- 暖房器具の近く
- ほこりや湿気の多い所

お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふかないでください。次のものは使用しないでください。



ベンジンやアルコールなどの溶剤
研磨材を含むクリーナー
レコード用のスプレーやクリーナー
静電気防止剤

結露について

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。

ストーブをつけた直後。

湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。

冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

露がついてしまうと

CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

露を取るには

CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

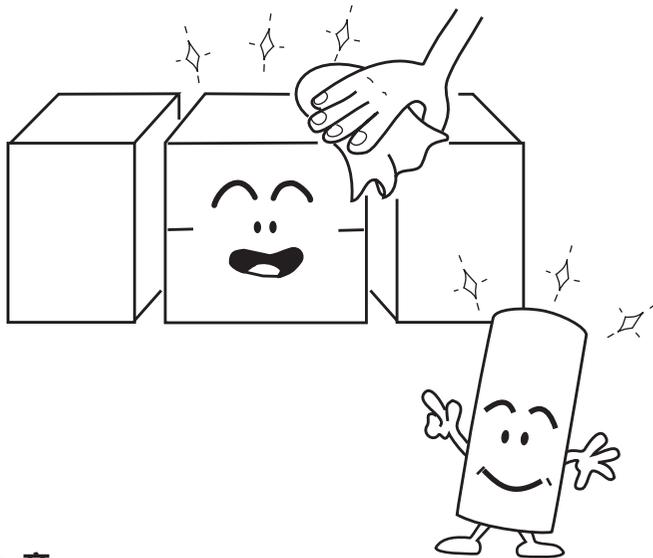
お手入れするには

お手入れの際は、電源コードをコンセントからはずしてください。

本体 / リモコン

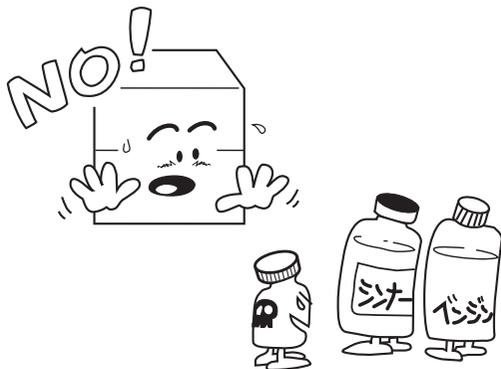
ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。

汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利(店のBGMなど)のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

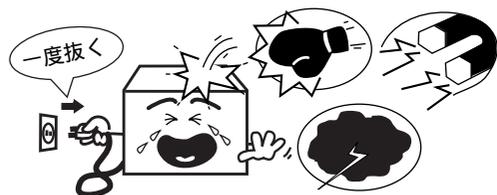
日本著作権協会

本部	(03) 3502-6551	北陸支部	(0762) 21-3602
北海道支部	(011) 221-5088	京都支部	(075) 251-0134
盛岡支部	(0196) 52-3201	大阪支部	(06) 244-0351
仙台支部	(022) 264-2266	神戸支部	(078) 322-0561
大宮支部	(048) 643-5461	中国支部	(082) 249-6362
東京支部	(03) 3562-4455	四国支部	(0878) 21-9191
西東京支部	(03) 3232-8301	九州支部	(092) 441-2285
横浜支部	(045) 662-6551	鹿児島支部	(0992) 24-6211
静岡支部	(054) 254-2621	那覇出張所	(098) 863-1228
中部支部	(052) 586-1155		

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部または最寄りの各支部へお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

こんなとき

ここをおたしかめください

参照ページ

スピーカーから音が出ない。	ヘッドホンが差し込まれていませんか？	15
	INPUTボタンで正しいファンクションが選ばれていますか？	—
	スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？	5
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	スピーカーの左右どちらかの極性、(+, -) が反対になっていませんか？	5
“ブーン”という雑音が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけると雑音が入ることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。	—
時計の表示が点滅している。	時刻合わせをしましたか？ 停電がありませんでしたか？ 時刻を設定し直してください。	13

故障かな？と思ったら

CDを聞くととき

操作ボタンを押しても動作をしない。 また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。 演奏音がとぎれる。	CDの裏表をまちがえていませんか？ ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？ CDに汚れやキズがありませんか？ 規格外のCDを使用していませんか？ 振動の多い不安定な場所においていませんか？ 本機内部に水滴がついているかもしれません。	20 — 38 38 — 38
"no disc"が表示される。 ディスクトレイが出てきてしまう。	CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆に入れていませんか？	20
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。	—

ラジオ放送を聞くととき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	アンテナの位置が悪くありませんか？	6
AM放送を聞いているときに、“シー”“ザー”という連続音が入る。	テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音が入ることがあります。 テレビを消すか、テレビから離してください。	—

リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	乾電池が消耗していませんか？ 受信部に正しく向けていますか？ 受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ 受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ 乾電池の⊕ ⊖ が逆になっていませんか？	12
------------	--	----

タイマーを使うとき

タイマーがスタートしない。	時刻合わせをしましたか？ TIMERが表示されていますか？	13 34
---------------	----------------------------------	----------

本機をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。 または、雑音が録音される。	使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビと本機の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。または、テレビを消してください。	—
他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

仕様

CD部

型式	3枚CDチェンジャー
D/Aコンバーター	1bit DAC
周波数特性	20~20000Hz ±1dB
ワウ・フラッター	測定限界値以下

チューナー部

FM受信周波数範囲	76.0MHz~108.0MHz/50K step
AM受信周波数範囲	522kHz~1629kHz/9K step
FM受信感度	10dB (S/N 30dB)
AM受信感度	50dB (S/N 20dB)

アンプ部

実用最大出力	20W+20W (EIAJ, 1kHz, 6)
入力感度	400mV/47k (TAPE/MD)

総合

電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	40W
寸法(幅)×(高さ)×(奥行)	200×150×329mm
重量	5.0kg

付属品

リモコン×1	取扱説明書×1
単4乾電池×2	保証書×1
AM用ループアンテナ×1	
FM用アンテナ×1	

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)汗里丘センター内
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (087) 822 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営業部 TEL (053) 460 - 3451
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405
住所および電話番号は変更になることがあります。

